

# What is DESIGN THINKING?

晩秋の金曜日、2019年11月22日、DESIGN ACADEMYの協力を得て、デザイン思考の体験型ワークショップが東京大学生産技術研究所にて行われた。

イノベーション、革新、一新が世の中で注目を浴びているなか、JOI会員の中には、これらを具現化しなければ会社の未来はないという危機意識をもつ企業は多い。

## Design is about making things real

デザインはモノゴトをリアルにする  
Bring ideas off the paper, out of your head...

## Design is Human Centric

デザインは人間中心

Understanding people is key...

Why? Why? Why? I wish...

Insight =

Understanding the true  
nature of a thing  
物事の本質を理解する。

SOLO  
THINKING



GROUP  
SHARING

そうした具現化への道標として、イノベーション人材を多く輩出する英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アートにて教鞭をとられた東京大学生産技術研究所のマイルス・ペニンントン教授を講師として招き、「デザイン思考」という、既存の考え方やアプローチに一石を投じる方法・思考プロセスについて、「体験」するワークショップが実施されたのである。

参加者は、メーカー、総合商社、金融、建設等多岐にわたり、年齢層も幅広く、誇りをもって参加していると感じた。また、ゼロから価値を生み出すにはどうすればよいのか、そうした思考プロセスは何か、という疑問を胸に抱き、漠然とした不安を感じながらも、新しいことにチャレンジできる希望やワクワク感も感じられたようであった。

当日は、「自分がいちばんリラックスできる服装で」というドレスコードがあり、それぞれ思い思いの服装で参加していたことも印象的だった。また、セミナー会場も大学の研究室であり、まさにラボ (laboratory: 実験室) という雰囲気であった。

Let's start!

Let's  
prototype!

Let's test!

今回、素直に感じたことは、「The best way to experience a new experience is to experience it」という言葉のとおり、体や頭を使って実体験することの影響力である。仲間や顧客の生の声を聴き、話し、共有し、理解し、作り、試し、直す、を何度も何度も繰り返すことで「人」を理解し、その結果、「人」や「社会」が求める「何か」を得ることができるのではないだろうか。今回、デザイン思考の一端に触れることができた実体験は、他の参加者にとっても貴重なものとなったと期待すると共に、イノベーションの具現化への道標となれば幸いである。

(調査員 外木場) 

